

循環協にいがたの発刊にあたって



一般社団法人 新潟県産業資源循環協会
会 長 関 隆 雄

澄み渡る空に紅葉がひとときわ映える季節となりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本年度の総会におきましては、新型コロナウイルス感染症の流行以前にも増して多数のご来賓および会員の皆様にご出席いただき、懇親会を含め盛会のうちに終了できましたことを、改めて心より御礼申し上げます。

さて、近年は地球温暖化の影響とされる猛暑や渇水、そして局地的な豪雨など、極端な気象現象が頻発しております。当県においても、梅雨明け以降は各地で高温傾向が強まり、農作物や住民に熱ストレスを与えるような猛暑となりました。特に一部地域では、「ため池」が干上がる事態も見られ、田んぼのひび割れや稲枯れの兆候が確認されるなど、深刻な影響に見舞われました。

一方で、8月上旬には県内で「記録的な大雨」が観測され、浸水や土砂崩れによる被害が発生しております。

こうした異常気象が発生する状況にあっても、資源循環の流れを止めることがないよう現場において、熱中症対策をはじめ、健康管理の徹底や事故防止、リスクアセスメントの実施など、引き続き安全・安心な労働環境の構築に努めていくことが私たちに課せられた使命であると思っています。

災害関連では、昨年1月に発生した能登半島地震に関して、当県においても家屋等の公費解体が進められ、当協会では災害廃棄物の処理を関係者の皆様と連携し実施してまいりました。また、今年度からは石川県内の災害廃棄物についてもその処理を微力ながら石川県協会に協力する形で取り組んでおります。この場をお借りしまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

また、本年度中に「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」が本格施行され、並びに「廃棄物処理法」の改正及び「新潟県資源循環型社会推進計画」の改訂に向けた作業が行われるなど本年度は、資源循環を巡る大きな節目の年になります。

我々の業界が今後さらに発展していくためにも、社会の変化に遅れることなく、さまざまな取組を進めていく必要があります。当協会といたしましても、これらの動きを的確に捉え、会員の皆様への情報提供や研修の実施を通じて、地域に根ざした資源循環の推進に貢献してまいります。

なお、当協会では情報提供の手段として、紙媒体からメール等への移行といったDX化を段階的に進めており、会員の皆様のご理解とご協力を賜りながら、より利便性の高い体制整備に努めてまいります。

結びに、今後とも会員の皆様をはじめ、行政および関係団体の皆様からの変わらぬご支援・ご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年度 通常総会の開催

令和7年6月4日（水）ANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市）において令和7年度通常総会を開催しました。

出席者は、正会員408社（委任状出席者を含む）、賛助会員8社でした。

総会は、ふじ環境保全（株）の小田島藤吉氏の司会によって進められ、大橋副会長による開会の辞によって開会しました。

議長には、（株）斎藤組の齋藤 隆氏が選任され、議事録記名人には県央支部の桐生竜治氏と長岡支部の霜田真紀子氏が指名されて議案の審議が進められました。

議案審議では「令和6年度事業報告・令和6年度決算報告」が質疑、異議ともになく可決承認されました。

また、「理事辞任に伴う補欠理事選任の件」に関して質疑、異議ともになく提案どおり丸山晴夫氏（中越環境開発（株））が新理事として承認されました。

続いて、令和6年度末の理事会で承認されている「令和7年度事業計画に関する件」及び「令和7年度収支予算に関する件」を報告し審議を終了しました。

その後に行われた表彰式では、関会長から功労者4名、優良事業所7社、優良従事者14名の方々に表彰状の授与が行われました。

休憩を挟んで来賓入場後、最初に当協会の関会長が挨拶し、花角英世新潟県知事（代理 茂野由美子環境局長）、中原八一新潟市長（代理 野島晶子新潟市副市長）、皆川雄二新潟県議会議長からご祝辞をいただきました。

その後、来賓紹介に移り国土交通省北陸地方整備局企画部 澤山雅則技術調整管理官（代理 技術管理課 佐藤由浩課長補佐）、新潟県環境局資源循環推進課 渡辺謙一課長、新潟県土木部技術管理課長谷川文伸課長、新潟市環境部 小泉英康部長、新潟市環境部廃棄物対策課 袖山直也課長、新潟県環境局資源循環推進課 廣田由紀不法投棄対策室長、新潟県土木部技術管理課 嵯峨山航政策企画員、新発田地域振興局 土屋江理子センター長、三条地域振興局 西潟良成センター長、長岡地域振興局 岩浪春輝センター長、南魚沼地域振興局 西生 順センター長、上越地域振興局 石野雄二センター長、佐渡地域振興局 茨木 剛センター長、新潟市環境部廃棄物対策課廃棄物指導室 清水 智室長、（公財）新潟県暴力追放運動推進センター 家老直貴専務理事の皆様方を紹介しました。

さらに、佐藤信秋参議院議員、斎藤洋明衆議院議員、国定勇人衆議院議員、石井 修新潟県議会議員、楡井辰雄新潟県議会議員、（公社）全国産業資源循環連合会 永井良一会長からの祝電を披露し、曾根副会長による閉会の辞によって令和7年度通常総会は終了しました。

令和7年度 通常総会



会長あいさつ



大橋副会長の開会の辞



新潟県知事祝辞（代理 茂野環境局長）



新潟市長祝辞（代理 野島副市長）



曾根副会長の閉会の辞



総会会場の様子

開会挨拶

一般社団法人 新潟県産業資源循環協会
会 長 関 隆 雄

通常総会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日ごろより、当協会の運営にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本日、新潟県知事、新潟市長をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜り、総会を開催することができました。この場を借りまして、心から御礼申し上げます。

さて、昨今の社会経済情勢は大きく変化しており、我々産業資源循環業界も転換期を迎えようとしております。

世界的には、サーキュラーエコノミーによる循環型社会の実現が重要な柱とされ、国内でも、高度なりサイクルに挑むいわゆる「高度化法」が、本年度秋に本格施行となります。今後、さらなる動脈産業との連携強化が求められ、静脈産業を担う我が業界として、その多くの中小企業の役割を改めて見つめなおしていくことになります。

また、国内において、ヒト・モノ・カネ・情報という経営資源の「質」と「量」の両面での確保が、業界全体の持続的成長にとって喫緊の課題となっています。特に「ヒト」の面では、労働力の高齢化や担い手不足が深刻化する中、環境省では、「外国人育成就労制度」の施行に向け、廃棄物分野の追加準備を進めており、我々も、将来の事業を担う人材の確保・育成を様々な面から多角的に進めていく必要があります。

このような状況を踏まえつつ、良好な職場環境の確立を図り、社会の変化に乗り遅れることの無いよう、将来を見据えた取組を積極的に進めていかなければなりません。

各県協会で組織する「全国産業資源循環連合会」では、人材の育成・確保、脱炭素への取組、労働災害の撲滅といった課題に向けた取組を進めており、当協会も、廃棄物の適正処理はもとより、これらの様々な課題に対応すべく、新任者から経営トップまで幅広い層に対する研修や各種情報発信等に今年度も計画的に取り組んでいくこととしております。

つきましては、今後とも行政や関係団体の皆様との連携を深め、業界の社会的な信頼と価値を高めることで、廃棄物の適正処理はもとより、循環型社会の実現、ひいては新潟の発展に、微力ではありますが貢献してまいりたいと考えておりますので、皆様方からの一層のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご参集の皆様方の益々のご活躍と、ご健勝を祈念いたしまして、開会の挨拶とさせていただきます。

祝 辞

新潟県知事 花 角 英 世

一般社団法人新潟県産業資源循環協会令和7年度通常総会の開催にあたり、一言お祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から、産業廃棄物の適正処理の推進や、会員事業者の連携強化等を通じ、本県の環境行政の推進に御貢献いただいておりますことに厚く御礼申し上げますとともに、このたび優良事業所等の表彰を受けられました皆様に、心よりお祝い申し上げます。

また、昨年1月の能登半島地震に伴い、現在も行われている公費解体による災害廃棄物の適正な処理に御協力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、昨年公布された「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」につきましては、今年11月までに本格施行されることとなっております。廃棄物処分業者においても、高度な再資源化の推進や再資源化の状況の開示等が求められるなど、資源循環の取組が今後一層重要になってくるものと認識しております。

こうした中、講習会事業や3Rの推進等に積極的に取り組んでこられた貴協会が果たす役割は益々重要であり、今後の取組に大いに期待しているところであります。

また、かねてより貴協会からご要望をいただいております上越地区における公共関与最終処分場の整備につきましては、事業主体である県環境保全事業団において、環境影響評価や用地取得等の取組が鋭意進められているところです。

県といたしましても、引き続き、上越市や県環境保全事業団等と緊密に連携し、地域の皆様からの御理解を得ながら、着実な取組を続けてまいります。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。

祝 辞

新潟市長 中 原 八 一

一般社団法人新潟県産業資源循環協会様の通常総会が、つつがなく執り行われておりますことに、心よりお祝い申し上げます。

皆さまにおかれましては、日頃より産業廃棄物の適正処理や不法投棄の防止活動、リサイクルの推進などを通して、本市の環境保全、生活環境の向上に多大なご貢献をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

また先ほどは、優良事業所や功労者、優良従事者の方の表彰が行われたとお聞きしています。栄える表彰を受けられた皆さまへ、心よりお祝い申し上げます。

能登半島地震の発生から1年5か月がたちますが、これまで本市では、被災された方々の生活再建に向けた取組を着実に進めてまいりました。

引き続き、本市の最優先課題として被災者に寄り添った支援や公共インフラの復旧などを着実に進めるとともに、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

また、本市が実施する被災家屋等の公費解体については、被災された方々が生活再建をすすめる第1歩と考えており、1日も早い完了を目指し取り組んでおります。

解体後に発生する廃棄物の処理については、皆さまからご協力をいただいております、あらためて御礼申し上げます。

さて、産業廃棄物の適正な処理の推進にあたりましては、廃棄物処理法をはじめとする関係法令の遵守徹底が何よりも大切と考えております。

このため、本市といたしましても、皆さま方との連携を深め、市民・事業者・行政の協働のもと、環境先進都市を目指し、取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新潟県産業資源循環協会様のますますのご発展と、ご臨席の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

新潟県議会議員 皆 川 雄 二

新潟県産業資源循環協会の令和7年度通常総会の開催に当たり、県議会を代表いたしまして、一言お祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から産業廃棄物の適正処理や資源循環の推進などに取り組まれ、本県の環境保全や公共の福祉増進に大きく貢献いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、本日、栄えある表彰を受けられました皆様、誠におめでとうございます。その御功績に心から敬意を表しますとともに、今後ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

さて、御承知のとおり、産業廃棄物は、経済活動の発展や生活様式の多様化などを背景に大量かつ多種多様化していることに伴い様々な課題が生じており、減量化・再生利用の推進による処分量の削減、安定的な処分容量確保のための最終処分場の整備、悪質・巧妙化する不法投棄の未然防止・早期対応などの取組の推進が重要となっております。他にも、マイクロプラスチックによる海洋汚染や大量の食品ロスなど、持続可能な社会の実現に向けた国際的な課題への適切な対応が求められております。

県では、「資源を大切に作る循環型の地域社会づくり」を基本理念に掲げ、廃棄物の排出抑制、循環利用などの施策を講じているところですが、これらの施策を一層推進していくためには、国や地方公共団体はもとより、貴協会を始めとした関係団体と官民一体となって取り組んでいくことが不可欠であります。

このような中、貴協会におかれましては、県や関係団体と連携して各種研修事業や処理施設の整備促進、災害廃棄物処理体制の構築など様々な取組に積極的に努められており、今後とも産業廃棄物の適正処理や資源循環の推進に一層御尽力いただきますよう、お願い申し上げます。

県議会といたしましても、この豊かな新潟の自然環境を将来の世代に継承できるよう、資源循環型社会の形成に向け、各種施策を推進してまいります。

結びに、一般社団法人新潟県産業資源循環協会のますますの御発展と御列席の皆様方の御健勝・御活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

一般社団法人新潟県産業資源循環協会役員名簿

令和7年6月4日

役 職	氏 名	企 業 団 体 名	支 部	備 考
会 長	関 隆雄	新潟ガービッチ（株）	三魚沼	支部長
副会長	曾根 剛	曾根建（株）	新発田	支部長
〃	大橋 崇	（株）大橋商会	新 潟	
〃	近藤 正明	（株）新潟ヂーゼル工業	長 岡	支部長
専務理事	栗林 英明	（一社）新潟県産業資源循環協会		
理 事	小柳 秀樹	小柳産業（株）	新発田	
〃	須貝 和正	（株）公衛社	〃	
〃	武藤 浩行	（有）武藤清掃工業	〃	
〃	富田 力	新潟特殊企業（株）	新 潟	支部長
〃	前田 正実	（有）新津清掃社	〃	
〃	齋藤 隆	（株）齋藤組	〃	
〃	市川 正和	青木環境事業（株）	〃	
〃	吉田 誠吾	（公財）新潟県環境保全事業団	〃	
〃	吉田 智彦	（有）吉田商事	〃	
〃	桐生 竜治	（株）丸正土木	県 央	支部長
〃	小田島藤吉	ふじ環境保全（株）	〃	
〃	渡辺 純	三島谷興産（株）	長 岡	
〃	元井 秀哲	大和運送建設（株）	〃	
〃	吉田 松明	（株）吉田鋼業	〃	
〃	丸山 晴夫	中越環境開発（株）	〃	
〃	霜田真紀子	シモダ産業（株）	〃	
〃	大桃 政春	（株）小出環境サービス	三魚沼	
〃	小泉 等	（株）小泉工業	〃	
〃	飛田 剛一	飛田テック（株）	上 越	支部長
〃	熊木 晶	アイレック新潟（株）	〃	
〃	齊藤 昇治	（株）齊藤商事	〃	
〃	越前 隆夫	越前工務店（株）	佐 渡	支部長
〃	駒形 信治	信栄陸運（株）	〃	
〃	藤井 映規	（株）エコスタッフ	青年部	部会長
〃	善宝 晋場	アイビス技建（株）	〃	
監 事	田村 雄作	環境技研（株）	新 潟	
〃	金内 宏彰	（株）丸共	長 岡	

理事30名 監事2名 計32名

委員会名簿

総務企画委員会	◎関会長、○曾根副会長、大橋副会長、近藤副会長、富田理事、桐生理事、飛田理事、越前理事
広報委員会	◎近藤副会長、○須貝理事、武藤理事、吉田（誠）理事、吉田（智）理事、小田島理事、吉田（松）理事、霜田理事、大桃理事、齊藤理事、駒形理事、藤井理事
処理業振興委員会	◎大橋副会長、○小柳理事、前田理事、齋藤理事、市川理事、渡辺理事、元井理事、丸山理事、小泉理事、熊木理事、善宝理事

◎は委員長、○は副委員長

令和6年度の主な事業活動状況について

本協会は、産業廃棄物の適正な処理、資源循環の推進を一層進めていくこととし、令和6年度は、従来に引き続き産業廃棄物の適正処理対策への取組、資源循環の推進、不法投棄の防止はもとより、労働安全衛生や地球温暖化対策の取組、人材育成、社会貢献、災害廃棄物への対応等の事業を展開した。

より効果的な事業展開を図るために、国の機関、新潟県及び新潟市等の地方公共団体、(公社)全国産業資源循環連合会等の関係団体との連携を強め、的確な情報の収集を行い、会員等に対する情報提供を進めた。

講習会・研修会事業に関する詳細は以下のとおり。

～ 講習会・研修会事業 ～

(1) 産業廃棄物処理業許可申請等講習会

ア 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

(公財)日本産業廃棄物処理振興センター(JWセンター)が実施する「産業廃棄物処理業許可申請等講習会」等の実施に協力した。

令和6年度はWebによる講義と会場(朱鷺メッセ)での試験を組み合わせたオンライン形式及び一部の講習会に関し対面形式で実施された。

また、当協会では、来庁者や電話照会への対応、協会ホームページ等での周知、試験会場での受付等を担当した。

種 類	課 程	試験(講習)日	定 員	受講者数
新 規	収 運	6/12	150	135
		(対面) 8/7～8	150	143
	処 分	11/14	20	18
	特管収運	7/25	40	31
	特管処分	7/25	10	10
更 新	収 運	6/12	150	119
		(対面) 7/24	150	149
		7/25	150	27
		9/6	150	51
		(対面) 11/13	150	145
	処 分	6/13	100	74
		11/14	30	28

イ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

朱鷺メッセを会場にしたオンライン型試験及び対面形式での講習会の実施にあたり協力した。

試験（講習）日	定 員	受講者数
6 / 13	150	71
(対面) 9 / 5	150	147

(2) 産業廃棄物処理に携わる人材育成

ア 産業廃棄物処理に係る新任者研修会

新入社員や新任者の人材育成を図ることを目的に研修会を開催した。

日 時：令和6年5月20日（月）10時00分から16時00分

会 場：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内容及び講師：

① 産業廃棄物処理業界の概要

講師（一社）新潟県産業資源循環協会 専務理事

② 労働安全衛生について

講師 日本労働安全衛生コンサルタント会 新潟支部 講師

③ 産業廃棄物処理の基礎

講師（公社）全国産業資源循環連合会 元専任講師

参 加 者：77名

イ 産業廃棄物処理実務者研修会

実務者クラスの人材育成を目的に研修会を実施した。

日 時：令和6年10月21日（月）13時00分から16時30分

会 場：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内 容：産業廃棄物の委託処理と委託契約、マニフェスト、帳簿作成 等

講 師：（公社）全国産業資源循環連合会 元専任講師

参 加 者：61名

ウ 産業廃棄物収集運搬運転業務担当者セミナー

収集運搬に携わるドライバーや運転業務管理を行う者等を対象に、法令内容を理解し適正処理や事故防止等を促す研修会を開催した。

日 時：令和6年12月6日（金）13時30分から16時30分

会 場：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内 容：廃棄物処理法、労働安全衛生、交通安全、運行管理等

講 師：新潟県警察本部 交通企画課 担当者

（公社）全国産業資源循環連合会 元専任講師

参 加 者：49名

エ（公社）全国産業資源循環連合会の人材育成プログラムにより実施する事業

産業廃棄物処理現場業務eラーニング講座、産業廃棄物処理実務者研修会、産業廃棄物処理検定（廃棄物処法基礎）をホームページ掲載や研修会等でのチラシ配布で、受講を会員等に促した。

(ア) 産業廃棄物処理現場業務eラーニング講座

産業廃棄物処理に関わる全ての者を対象として、廃棄物処理法の基礎知識を習得するための研修会（収集運搬、中間処理、最終処分の各現場業務コース（3コース））

開 講：① 令和6年9月3日から28日 ② 令和6年10月3日から28日

(イ) 産業廃棄物処理実務者研修会（eラーニング）

産業廃棄物の処理現場に従事する者を対象とした能力アップセミナー

開 講：① 令和6年5月3日から28日 ② 令和6年6月3日から28日

③ 令和6年7月3日から28日 ④ 令和6年8月3日から28日

⑤ 令和6年11月3日から28日 ⑥ 令和6年12月3日から28日

⑦ 令和7年1月3日から28日

(ウ) 産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）

産業廃棄物を処理する上で必要な正しい法的基礎知識が身についていることを確認する試験

日 時：第7回 令和6年9月9日から9月29日

第8回 令和7年2月12日から3月5日

会 場：新潟西テストセンター（新潟市）、長岡MSアカデミーテストセンター（長岡市）、だいふくパソコン教室上越センター（上越市）、他県内5カ所

内 容：CBT（Computer Based Testing）方式の試験

(3) 労働災害防止に係る研修

ア 労働安全衛生研修会

目 的：業界における「リスクアセスメント」「安全衛生規程の作成」といった実践活動の進め方を周知することで安全衛生活動を推進する。

① 長岡会場

日 時：令和6年10月1日（火）13時30分から16時30分

会 場：和同新産センタービル 大会議室（長岡市新産2-1-4）

内 容：講義1 基本的安全衛生活動について

講義2 安全衛生規定の作成について

講義3 安全衛生パトロールの実施方法について

講義4 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント（講義）

〃

（実習）

講 師：日本労働安全衛生コンサルタント会 新潟支部 講師

参 加 者：27名

② 新潟会場

日 時：令和6年10月8日（火）13時30分から16時30分

会 場：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内 容：①長岡会場と同じ

講 師：〃

参 加 者：29名

(4) 電子manifestの普及促進

電子manifestの加入促進及び正しい使い方を周知することを目的に、manifest操作体験セミナーを開催するとともに、JWセンターが開催するWeb説明会、説明動画等をホームページ等で周知した。

(操作体験セミナー)

日 時：令和6年9月19日（木）午前の部：10時00分から12時00分

午後の部：14時00分から16時00分

会 場：燕三条地場産業振興センター 情報研修室（三条市須頃1丁目17番地）

講 師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター 電子manifestインストラクタ

参加人数：28名

(5) 新潟県からの受託事業、県との共催事業

ア 資源循環推進セミナー

産業廃棄物排出事業者等を対象に、循環型社会形成の推進に関する法令や社会情勢の理解を深め、県内の循環型社会形成の推進を図ることを目的に、資源循環の推進に関する講習会を開催した。

日 時：令和6年11月29日（金）13時30分から15時00分

会 場：新潟県建設会館（新潟市中央区新光町7-5）

内容・講師：

(ア) 環境省における資源循環に向けた取組について

環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課 課長補佐

(イ) 補助・支援制度の紹介

新潟県環境局資源循環推進課産業廃棄物係 担当者

参加者：66名

イ 産業廃棄物適正処理推進セミナー

産業廃棄物排出事業者等を対象に、適正処理意識を向上させることにより、不法投棄の根絶を図ることを目的に、廃棄物の適正処理に関する講習会を県内各地で開催した。

平成6年度 開催日、開催市町、会場、参加者数

開催日	開催市町	会 場	参加者数
10月15日（火）	長 岡 市	和同新産センタービル 大会議室	71
10月17日（木）	佐 渡 市	佐渡市金井コミュニティセンター 大集会室	16
10月18日（金）	三 条 市	燕三条地場産業振興センター リサーチコア マルチメディアホール	51
10月22日（火）	聖 籠 町	聖籠町町民会館 小ホール	53
10月24日（木）	上 越 市	ユートピアくびき希望館 第三会議室	36
10月25日（金）	新 潟 市	新潟県建設会館 大会議室	80
1月22日（水）	魚 沼 市	魚沼市小出郷文化会館 小ホール	53
合 計	-	-	360

講演内容・講師

(ア) 「産業廃棄物不法投棄の現状と対策」

新潟県環境局資源循環推進課 担当者

新潟県地域振興局健康福祉環境部環境センター 担当者

(イ) 「産業廃棄物排出事業者の排出責任等」

(公社) 全国産業資源循環連合会 元専任講師 渡辺 一法 氏 (上越・新潟)

(同) エコ・インテレクト 代表社員 松本津奈子 氏 (長岡・三条)

イーテラス (株) チーフコンサルタント 安井 智哉 氏 (佐渡・聖籠・魚沼)

ウ 産業廃棄物処理業の新規許可申請説明会

産業廃棄物処理業の許可申請を行う者を対象 (※) に、申請書の作成方法に関する説明会を開催した。(※ 更新許可申請を行う者も対象)

日 時：令和6年8月27日 (火) 13時30分から15時30分

会 場：新潟県建設会館 大会議室 (新潟市中央区新光町7-5)

内 容：産業廃棄物処理業の許可申請手続きについて

講 師：新潟県環境局資源循環推進課産業廃棄物係 担当者

参 加 者：23名

(6) トップセミナー

業界を取り巻く新たな課題にどう取り組むべきかとのテーマに沿って、経営者層を主な対象とするセミナーを開催した。

日 時：令和6年12月3日 (火) 15時00分から17時00分

会 場：新潟グランドホテル (新潟市中央区下大川前通3ノ町2230)

講 師：1 「産業廃棄物処理業における労働災害防止の取組」

(一社) 新潟県産業資源循環協会 専務理事

2 「思いは叶う」～CAから運送業社長そして道の駅駅長へ～

三福運輸 (株) 代表取締役 五月女奈緒美 氏

※ 新潟県中小企業団体中央会からの斡旋講師

参 加 者：26名

(7) 会員企業への講師派遣

会員企業が廃棄物処理法の内容で社内研修を実施する場合の講師を派遣することとしているが、令和6年度は講師派遣の実績はなかった。



令和7年度 一般社団法人新潟県産業資源循環協会 会長表彰受賞者名簿

功労者表彰（4名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新発田	渡 辺 正 明	アイビス技建（株）	新発田市
長 岡	近 藤 正 明	（株）新潟ダーゼン工業	長 岡 市
三魚沼	樋 口 礼 子	（有）グリーン清掃社	十日町市
上 越	高 橋 裕	（一財）上越市環境衛生公社	上 越 市

優良事業所表彰（7社）

（敬称略）

支 部	事 業 所 名	代 表 者 名	事業所所在地
新発田	（株）サンロック荒川	兵 藤 光 広	村 上 市
新 潟	（有）大橋銅鉄店	大 橋 一 也	新 潟 市
	新潟メスキュード（株）	佐 藤 弘	
県 央	（株）マルタ建設	本 田 浩 紀	燕 市
長 岡	（有）大日商会	青 木 健 次	柏 崎 市
三魚沼	井上土建工業（株）	今 岡 真 人	魚 沼 市
上 越	（株）上越グリーン	木 嶋 常 一	上 越 市

優良従事者表彰（14名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新発田	金 子 幸 司	（株）山富	村 上 市
新 潟	小 林 純 二	（株）大橋商会	新 潟 市
	竹 石 明 仁	（株）テクノ北越	
	前 田 紘 志	（有）新津清掃社	
県 央	佐 藤 隆 男	（株）原田商店	三 条 市
長 岡	金 子 富 一	三島谷興産（株）	長 岡 市
三魚沼	小 林 和 俊	高木沢企業（株）	十日町市
	田 中 英 雄	（株）元店建設	南魚沼市
上 越	齊 藤 公 明	アイレック新潟（株）	上 越 市
	齊 藤 ひとみ	（株）エコシステム	
	稲 葉 稔	上越マテリアル（株）	
	太 田 ひろみ	飛田テック（株）	
	五十嵐 徹	（株）マキタ創建	
	堀 田 康 雄	（株）山崎土木	



令和7年度 公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長表彰受賞者名簿

優良事業所（1社）

（敬称略）

支 部	事 業 所 名	代 表 者 名	事業所所在地
新 潟	環境技研（株）	田 村 雄 作	新 潟 市

地方功労者（6名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新発田	高 橋 国 蔵	東高建機作業（株）	聖 籠 町
新 潟	大 橋 崇	（株）大橋商会	新 潟 市
	朝 倉 哲 也	高倉産業（株）	
長 岡	渡 邊 純	三島谷興産（株）	長 岡 市
三魚沼	森 下 尚 平	森下企業（株）	湯 沢 町
上 越	清 水 勲	（有）清水建材	上 越 市

地方優良事業所（11社）

（敬称略）

支 部	事 業 所 名	代 表 者 名	事業所所在地
新発田	エバーグリーン（株）	須 貝 和 正	村 上 市
新 潟	（株）NKSコーポレーション	吉 田 琢 哉	新 潟 市
	環境整備（株）	善 宝 絵 梨	
	（有）コウケン工業	水 野 将 道	
	佐渡汽船（株）	尾 渡 英 生	
県 央	（有）山口建材	山 口 修	三 条 市
長 岡	環境資源開発（株）	熊 倉 哲	長 岡 市
	しなの産業（株）	瀧 川 寛 人	
	長岡リサイクルセンター（株）	細 川 恭 一	
三魚沼	（株）湯沢重機建設	池 田 利 幸	湯 沢 町
上 越	（株）ジェイ・シー	長谷川 浩	上 越 市

優良従事者（12名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新 潟	山 田 栄	（株）大橋商会	新 潟 市
	斎 藤 文 之	（株）北地区清総	
	斎 藤 美 靖	（株）斎藤組	
	大 坂 雄 司	新潟特殊企業（株）	
	稲 月 秋 生	（有）新津清掃社	
長 岡	高 田 佐 敏	（株）新潟ダーゼル工業	長 岡 市
三魚沼	大 島 毅	高木沢企業（株）	十日町市
上 越	伊 藤 敬 一	アイレック新潟（株）	上 越 市
	田 中 智 治	（株）エコシステム	
	廣 瀬 紀 彦	（一財）上越市環境衛生公社	
	草 間 隆	上越マテリアル（株）	
	江 口 和 芳	（株）マキタ創建	

(一社) 新潟県産業資源循環協会 会長表彰

功労者表彰



優良事業所表彰



優良従事者表彰



(公社) 全国産業資源循環連合会 会長表彰

